自治医科大学附属病院　診療科別プログラム　フォーマット

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	循環器内科
2	診療科紹介	循環器内科では急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性心不全、頻脈性および徐脈性不整脈、急性大動脈解離，急性肺血栓塞栓症などの急性疾患や、狭心症、弁膜症、拡張型および肥大型心筋症、慢性心不全、難治性不整脈、高血圧、閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤などの慢性疾患の診断と治療を行っています。地域の循環器病治療に貢献すべく，最新の診断・治療技術に基づいて患者様を診療しています。
3	臨床研修指導医	苅尾七臣（教授）、新保昌久（教授）、今井 靖（教授）、星出　聡（学内教授）、船山大（准教授）、原田顕治（准教授）、甲谷友幸（准教授）、小形幸代（講師）、小森孝洋（講師）、高橋政夫（講師）、渡部智紀（講師）、上岡正志(講師)、他13名
4	研修概要（特徴）	初期研修では，ローテーション（1～2ヶ月）にて当科の研修ができます。主治医，指導医とともに1チーム6人体制で十分なサポート体制のもと，豊富な症例を経験することができます。その経験を通じて、医師の基本となる診療の考え方、さらに循環器疾患の診療に関する、基本手技、検査法、治療の考えかたについて学ぶことができます。
5	研修内容（方略）	1.ベッドサイドにおける基本的診察の習得 問診： 1）胸痛、2）呼吸困難、3）動悸、4）めまい・失神 身体所見： 1）全身所見、2）うっ血所見（左心、右心系） 2.心電図検査 虚血性心疾患や不整脈の心電図の理解と判読 運動負荷心電図、ホルター心電図の判読 3.心血管系放射線学的検査 胸部レントゲン写真、CT スキャンの読影、MRIの読影 冠動脈造影、左室造影の読影とカテーテル検査データの解釈 負荷心筋シンチの読影、PETの読影 4.心臓超音波検査 基本的手技の理解と代表的な循環器疾患の判読 5.心内心電図、電気生理検査 主に頻脈性不整脈に対しての判読 6.その他 スワン・ガンツカテーテル挿入の基本手技、右心系心内圧と心拍出量の測定 経食道心エコーの基本手技の理解と判読 (2)治療手技 1.降圧薬の種類、病態に合った治療薬の選択と使用法 2.心不全治療薬の選択と使用法（急性期および慢性期） 3.急性冠不全症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）の急性期治療 4.心肺蘇生術（心臓マッサージ、気管内挿管、電気的徐細動） 5.冠動脈インターベンションの臨床的意義の理解と術後管理 6.不整脈疾患に対してのカテーテル治療、デバイス治療および薬物治療 7.重症心不全患者に対する人工心臓を含めた治療法 8.重症大動脈弁狭窄症に対する計カテーテル的大動脈弁置換術 9.心臓リハビリテーション 10.冠危険因子の管理、生活指導

6	到達目標	(1)一般目標（GIO） 循環器疾患を有する患者を受持医として担当することを通じて、その疾患の病態を把握し、適切に診断するための診察能力、検査計画の立案、さらに適切な治療方針を選択できる能力を習得する。
		（2）個別目標（SBO） 1.診療を通して、良好な患者―医師関係を確立する。 2.循環器疾患の問診法を学ぶ。 3.心血管系の聴診、打診法などの基本的診察手技を習得する。 4.心電図などの基本的検査手技を習得し、その理解ができるようにする。 5.循環器疾患に対する基本的な薬剤の使い方を習得する。 6.心血管系患者の救急処置について学ぶ。 7.冠動脈インターベンション、カテーテルアブレーション、デバイス治療、心臓リハビリテーションなどの循環器疾患の基本的治療法を学ぶ。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	
7-2	月曜日（午後）	心不全カンファレンス、心不全多職種カンファレンス
7-3	火曜日（午前）	
7-4	火曜日（午後）	血管カンファレンス
7-5	水曜日（午前）	症例検討会、Complex Case Conference チャートラウンド
7-6	水曜日（午後）	教授回診 TAVIハートチームカンファレンス 成人先天性心疾患カンファレンス（小児心臓外科合同） Clinical Up-to-date Conference ジャーナルクラブ
7-7	木曜日（午前）	カルディアックカンファレンス　(循環器内科・心臓血管外科・小児科合同)
7-8	木曜日（午後）	心臓エコーカンファレンス、心臓カテーテルカンファレンス、不整脈カンファレンス
7-9	金曜日（午前）	
7-１０	金曜日（午後）	
8	経験できる症例	受持医として受持つことを目標とする疾患： 急性冠不全症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）、狭心症、弁膜症、心不全、不整脈（頻脈性不整脈、徐脈性不整脈）、高血圧症（本態性、二次性）、動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症）など。 受持医になる機会には必ずしも恵まれないが、カンファランス、クルズス、その他を通して理解を得ることが出来る疾患： 心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症）、先天性心疾患、肺血栓塞栓症、肺高血圧症、感染性心内膜炎など。
9	指導医からのメッセージ	当科では、救急を含め症例数が圧倒的に多く、豊富な臨床経験が積めるとともに、大学としての学術的な経験も積むことができます。